

水がもたらす影響

沖縄県 伊是名中学校 三年 名嘉 昂佑

私は、水の重要性をもっと知るべきだと思った。そう思ったきっかけは、私が住んでいる伊是名村で最近節水についての放送がとても多く、実際に事件が起きたからだ。

どのような事件かというと、新学年が始まった直後、断水が起きてしまった。断水はよくあるので、すぐに直るだろうと思っていた。しかし、今回の断水は一週間程度続いた。村のほぼ全体が、水をともに使うことが出来なくなった。数年前の台風ほどではないが、今まで起きた断水の中で一番被害が大きかったと思った。

水が及ぼす影響は、他にもある。実際に経験したことだが、学校給食が作れなくなったことだ。普段何気なく食べる事が出来ている学校給食は、水がないと作れない。弁当も理由があつて持つていくことが出来ない。そのため学校も午前中で終わり、部活も普段通りにすることが出来ない。私はこの時、初めて水の重要性をはっきりと理解できた気がした。

私はこれらの経験で井戸などを活用するべきだと考えた。井戸を活用することが出来れば、自然の水を使うので私たちが管理できる。しかもそれだけではなく、台風や断水など災害への対策になる。井戸には、これらのメリットがある。だが、もちろんデメリットもある。それは、自然の水を使うことだ。自然の水はろ過などした後でないと、利用することが出来ない。そのため、井戸の水が安全に使えるようになるまでに、多くの工程が必要になる。なので、井戸を活用し、私たちが管理することとは出来る。だが、それなりの時間や費用もかかることがわかった。

では、水の減少を抑えるためにはどのようにすればよいのだろうか。水を安全に管理することは容易ではない。だから私は、「節水しかない」そう思った。今現在、断水が起き、節水活動を起こしている。だが、水

がなくなってから活動しても遅すぎると私は考えた。一人一人が節水を意識することで、災害などの被害以外で、水に困ることが減ると思う。一人一人が節水の意識を持つためにはどうすればいいだろうか。私は、水の作文コンクールを活用すべきだと考えた。水の作文は、その名の通り水について書く作文である。なので、水の重要性について考えられる素晴らしいコンクールなのだ。水の重要性について自分で考えると、より深く考えることが出来る。なので私は、水の作文コンクールを活用して、水の重要性について考えさせる必要があると思う。

私の身近で起きたことのように、水がないと私たちへさまざまな影響を及ぼす。なので、日常生活を安全に、過ごしやすくするために、水は、計画的に使う必要がある。この世界の全ての人が、水の重要性をよく理解すると、水で困っている人が、この世界から減っていくのではないかと私は思う。